

「演習・基礎から学ぶ 大学の化学」正誤表 (初版第5刷発行)

(初版第6刷発行)

頁	行目	誤	正
16	4	[解] 光子 1 個あたりのエネルギー E は	[解] 有効数字 3 桁の精度では空気の屈折率の補正は不要で、光子 1 個のエネルギー E は
27	1	錯体	配位化合物
29	10	1 2. 以下の分子 (イオン) を物理的に安定なものとそうでないものに分け、安定なものについて結合エネルギーの大きい順に並べよ。	1 2. 以下の分子 (イオン) を物理的に安定なものとそうでないものに分類せよ。
29	13	[解] すべて結合性軌道に入る電子数が、反結合性軌道に入る電子数を上回るため安定である。 $O_2^{2+} > O_2^+ > O_2 > O_2^- > O_2^{2-}$ の順 (結合性軌道に入る電子数と反結合性軌道に入る電子数の差の大きい順) に結合エネルギーは低下する。	[解] すべて結合性軌道に入る電子数が、反結合性軌道に入る電子数を上回るため安定と考えられる。ただし、2 価イオンは静電反発のためやや不安定化する。
33	13	4. 以下の分子 (イオン) を物理的に安定なものとそうでないものに分け、安定なものについて結合エネルギーの大きい順に並べよ。	4. 以下の分子 (イオン) を物理的に安定なものとそうでないものに分類せよ。
40	5	固体の場合なら X 線回折像	電子線や X 線の回折像
56	22	硫黄イオン	硫化物イオン
60	6	始状態と終状態の温度	始状態と終状態の絶対温度
73	1	温度および体積が (T_1, V_1)	絶対温度および体積が (T_1, V_1)
76	26	2 つの容器内の温度	2 つの容器内の絶対温度

80	1	[解] 温度 T_1, T_2 での	[解] 絶対温度 T_1, T_2 での
84	10	圧力 P , 温度 T	圧力 P , 絶対温度 T
84	23	▶注: 圧力 P° , 温度 T	▶注: 圧力 P° , 絶対温度 T
90	15	エントロピー変化と温度の積	エントロピー変化と絶対温度の積
90	21	8. 水とメタノール (沸点 65°C) の混合系	8. 標準大気圧下における水とメタノール (沸点 65°C) の混合系
91	25	500 気圧	501 気圧
91	28	ΔV は $0.0907 \text{ cm}^3 = 9.07 \times 10^{-8} \text{ m}^3$	ΔV は $-0.0907 \text{ cm}^3 = -9.07 \times 10^{-8} \text{ m}^3$
92	1	$\frac{dP}{dT} = \frac{\Delta H}{T \times \Delta V} = \frac{334}{T \times 9.07 \times 10^{-8}}$	$\frac{dP}{dT} = \frac{\Delta H}{T \times \Delta V} = -\frac{334}{T \times 9.07 \times 10^{-8}}$
100	11	二量体が形成される割合を x とすると	形成された二量体の全溶質分子に対する割合を x とすると
100	16	96%が二量体を形成していることになる。	二量体が96%を占めていることになる。
111	29	気相と液相が温度 T	気相と液相が絶対温度 T
112	18	温度 T , 分圧 P_i	絶対温度 T , 分圧 P_i
117	6	活性化エネルギー E_a と温度 T	活性化エネルギー E_a と絶対温度 T
117	14	反応速度	反応速度定数
最終	右 4	浜松医科大学医学部教授	浜松医科大学医学部名誉教授
最終	右 9	静岡大学学術院工学領域准教授	静岡大学学術院工学領域教授